



国際アクチュアリー会 (IAA) 死亡率ワーキンググループ アップデート #10 – シカゴ, アメリカ 2017 年 10 月

死亡率ワーキンググループ(MWG)が 2017 年 10 月に開催されました。合計で 18 か国から 19 名のメンバーと 17 名のオブザーバーが出席しました。また、2 名のゲスト・スピーカー (Carl Friedrich が長期ケアの複合商品、Jay Olshansky が顔認証)を歓迎しました。メンバーと同伴者の交流はグループにとって引き続き優先事項であり、IAA 会議の木曜日に多くの参加者によるディナーが開催されました。

このアップデートは議論をまとめたもので、議事録、すべての文書およびプレゼンテーションへのリンクを提供します(このアップデートの下部のハイパーリンクを参照)。委員会に加わる新規メンバーには、Dilara Asadova (Azerbaijan), Yair Babad (Israel), Gyula Horváth (Hungary)が含まれます。

死亡率ワーキンググループのプロジェクトが更新されました。高年齢の死亡率と高年齢の死亡率改善、将来の死亡率の長期的なドライバー、電子タバコに関する新しい文書の作成です。3 つは、ICA 2018 ベルリン向けの文書として提案されています。プロジェクト・チームは [死亡率ワーキンググループのプロジェクト](#)を提案・合意に向けて、新しいプロセスを提案しました。新規プロジェクトのアイデアに関する議論は 2018 年に継続されます。

[作業計画と予算](#)、[編集委員会](#)および[マーケティング委員会](#)に関するアップデートも死亡率ワーキンググループのサポート・チームにより提供されました。

以下のカントリー・レポートおよび研究の最新情報が提供されました。

- Hiroshi Yamazaki が最新の[カントリー・レポート](#) および新しい[生命表](#)のハイライトを発表しました。
- Al Klein が新しいタイの評価用生命表 ([Thailand mortality table](#)) の詳細を発表しました。
- Brian Ridsdale がイギリスの最新情報 ([UK update](#)) を発表しました。
- Dale Hall がSOAの研究成果の最新情報 ([SOA research in mortality](#)) を発表しました。

以下のプレゼンテーションがメンバーおよびゲスト・スピーカーにより提供されました。

- [長期ケア](#) - ゲスト・スピーカー、Carl Friedrich (長期ケア業界のリーダー)がアメリカにおける長期ケアについて詳細なプレゼンテーションを行いました。彼は特性、規制、複合商品をカバーし、今日直面している価格設定の課題を強調しました。
- [早期引受 \(Accelerated underwriting\) とプレディクティブ・アナリシス](#) - Al Klein がこのトピックについて SOA の 2016 年調査の結果を発表しました。
- [生命年金](#) - Ermanno Pittaco は保険会社と退職者の観点から退職後の商品選択と商品性の課題に焦点を当てました。彼は合理的な選択は年金支払を遅らせるか、保険会社

から入手可能な場合には退職前に高齢に繰り延べされた終身年金を購入することであると提案した。

- [顔認証](#) - ゲスト・スピーカー、Jay Olshansky (著名な人口学者) が顔認証で行われている研究について素晴らしい説明を行いました。どのくらい結果が正確なのか、アルゴリズムが構築されているデータの継続的な拡大、現在各社がどのように顔認証を使用しているかについてです。

これが死亡率ワーキンググループの議論の概要です。今回の会議(および以前の会議)の議事録、プレゼンテーションおよび文書ならびにアップデートの翻訳が以下から(登録不要で)入手可能です。

www.actuaries.org/mortalityupdates

セミナー

2017年10月3日、死亡率ワーキンググループ(MWG)は人口問題ワーキンググループ(PIWG)とともに、シカゴで1日のセミナー「International Insights on Mortality, Population and Public Interest」を開催しました。セミナーには、18か国から85人の参加者が集まりました。

セミナーのトピックスは、死亡率に影響のある重要な最近の問題をカバーしました。これには、アメリカにおける死亡率の最近の傾向、国際的な視点からの死亡率の傾向、(高齢者の死亡率だけではなく)死亡率による生活習慣の変化の影響、気候変動および死亡率への気候変動の潜在的な影響に関する議論、SOAの死亡率や国民調査のハイライトが含まれます。

発表者は公共の利益に影響を与える様々な人口問題について議論しました。これには、異なる社会的経済的集団における異なる罹患率および死亡率の観察、死亡率変動の財政的な影響と退職時の貯蓄を終身の収入に変換するときの課題に関する議論、各国における住宅所有者の傾向や最適な退職後の結果を提供するために住宅と年金にどのような相互作用があるかの検証、ヘルスケア利用モデリングの適用をみて疾病率をより良く理解するためのプレディクティブ・アナリシスの活用が含まれます。

プログラムとセミナーで使用されたプレゼンテーションはIAAウェブサイトで入手可能です。

http://www.actuaries.org/EVENTS/Meetings/chicago2017/mortality_seminar_program.pdf

ICA ベルリンおよび次回セミナー

次回の IAA 死亡率ワーキンググループの会議は(ICA 2018 ベルリンと併せて)2018年5月30日から6月2日まで開催されます。死亡率ワーキンググループのメンバーは ICA 2018 ベルリンに向けて、11 の [文書](#)を提出しました。プログラムは検討中です。人口問題ワーキンググループおよび死亡率ワーキンググループは、IAA [メキシコシティ会議](#)と併せて、2018年11月に死亡率、ライフサイクルにおける不測事象および人口問題をカバーするセミナーを計画しています。

このアップデートの感想をお伝えください。[簡単なアンケートに回答するにはここをクリックしてください。](#)

質問は以下のとおりです。

1. どの言語でアップデートを読みましたか?
2. どの情報や項目が最も役に立ちましたか?
3. アップデートで知りたいことがほかに何かありますか?
4. あなたの国で死亡率に関するセミナーを開催することに関心がありますか? もしそうなら、あなたのお名前、E メールアドレス、国名を教えてください。

参考

Minutes of the Chicago Mortality Working Group meeting

http://www.actuaries.org/index.cfm?lang=EN&DSP=CTTEES_TFM&ACT=MEETINGS

Mortality Working Group Information Base:

www.actuaries.org/mortalityinfo

IAA Mortality Working Group Updates:

www.actuaries.org/mortalityupdates

資料

会議の資料およびプレゼンテーションへのハイパーリンクは以下のとおり

- [Brian's introductory presentation](#)
- [Workplan and Budget](#) and [member data base](#)
- [Long Term Care](#)
- [Older age mortality improvement](#)
- [Long term drivers of future mortality](#)
- E-cigarettes ([Markup copy](#) and [Clean copy](#))
- [MWG projects](#)
- [ICA 2018 papers](#)
- [Editorial Committee update](#)
- [Japan country report](#) and [mortality table](#)
- [Thailand mortality table](#)
- [UK update](#)
- [SOA research in mortality](#)
- [Marketing Committee Update](#)
- [Accelerated underwriting and predictive analytics](#)
- [Life annuities](#)
- [Report for Scientific Committee](#)
- [Facial Analytics](#)
- [New Project Ideas](#)

International Actuarial Association | Association Actuarielle Internationale
99 Metcalfe Suite 1203 Ottawa, ON K1P 6L7 Canada

Tel: 1-613-236-0886 | Fax: 1-613-236-1386
secretariat@actuaries.org | www.actuaries.org